



## 夏だ！ビールだ！でも・・・ 飲酒運転は絶対にしない！させない！



ビールのおいしい季節となりました。感染症対策も徐々に緩和され、職場の仲間などと懇親を深める機会も増えてきたのではないのでしょうか。その一方で、現在も飲酒運転が原因の交通事故は後を絶ちません。楽しくお酒が飲めるよう、家族や身近な人々と声を掛け合いましょう！

### 飲酒が運転に及ぼす影響

(愛知県警 HP より)

#### 感覚機能の低下

視覚機能の低下により信号を誤って見落とししたり、横断している歩行者などに気付かないなど、運転に支障をきたす。



#### 運動機能の低下

ブレーキをかけようと思ってからの反応時間が遅くなり、人や車などに衝突する恐れがある。



#### 判断力・注意力の低下

スピード感覚が鈍くなり飲酒していない時よりもスピードを出しすぎる恐れがある。

危ないなあ



## 飲酒後の仮眠では身体からアルコールは抜けません！

(愛知県警 HP より)

飲酒後に仮眠をした人と仮眠をしなかった人の呼気中のアルコール濃度を調べたところ、仮眠をした人の濃度は仮眠しなかった人の約2倍でした。更に、アルコール分解後、少なくとも3時間は運動機能が低下するため、正確な運転はできないとの結果も出ています。(国立病院機構久里浜医療センター研究結果)

飲酒後は、公共交通機関やタクシー、または運転代行業者を利用しましょう！

飲酒後に運転することを前提とした仮眠は危険です！



「シグナルちゃん着ぐるみ」の  
貸し出しを再開します！

交通安全啓発イベントなどに、ぜひご活用ください。



啓発グッズの貸出し  
についてはコチラ



〈交通安全市民会議 HP〉

